



やまもととしあき  
山本俊明議員

### 第7次笠岡市総合計画のスタートと31年度予算

**議員** 国道2号バイパスの開通による地域経済の活性化に向けて、スピードを持って民間投資を初め様々な施策を実行し、結果にこだわり成果を上げる。この事について具体的に市長の考えをたずねる。

**市長** 県営笠岡港工業用地に平成28年度以降11社の誘致がはかられ現在4社が操業している。企業等が設備投資すれば、人口が増え税収がアップする。その財源を子育て支援、学校教育、インフラの整備等の施策に活用し、安心して暮らせるまちをつくる。

**議員** 福山市・倉敷市の中心にある笠岡は高いポテンシャルを持っている。それを生かしてどのような企業を集積し、産業活性化、働く場所を確保するの具体的な姿



についてたずねる。

**市長** 本市の企業の一つの核である大手鉄鋼業や合成樹脂、繊維製品大手企業を核として、傘下の中堅、中小企業や関連する物流企業等ターゲットを絞った企業誘致を進め、産業クラスターの形成を図る。また、農産物や畜産品、水産品等の生産を増やす支援を行い、2019年には本市の社会動態がゼロになるよう努めてまいりたい。

**議員** 笠岡最大の宝、財産は子どもであり、社会に出ても活躍できる環境を整えるとはどうするのか。

**市長** 放課後児童クラブの充実、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の実施、資質、能力の育成に資する教育環境整備を行う。



いぎ まもる  
井木守議員

### 改正出入国管理法施行に伴う対策は

**議員** 法改正により外国人の増加が予想されるが、外国人への対応を充実させる必要性を認識しているか。また、具体策はあるか。

**市長** 市民や外国人の声を聞く仕組みづくりや生活者としての外国人に対する支援などを想定しているが、最も重要視されるのは、円滑なコミュニケーションのための言語問題と考えている。関係機関、団体と連携し、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備を推進し、対応策の充実を図りたい。

**議員** 先進自治体でつくられている多文化共生社会推進プランを、笠岡市も今から作成し、計画的に対策を進めるべきではないか。

**政策部長** 笠岡市の外国人が住民



に占める割合は約1%。今後の状況を分析し、必要があれば作成したい。

### 笠岡市の職場のハラスメント対策は

**議員** 市の対策について、救済策、再発防止策はどうなっているか。また、過去の相談・認定件数は。

**市長** ハラスメント防止要綱に基づき、研修を毎年実施している。疑わしいケースの場合、個別の相談は、人事課が窓口となっている。相談件数は年平均5件ほどだが、苦情処理委員会を開催し、認定に至る深刻なケースはない。

**議員** 直接の上司のハラスメントを一職員が訴えるのは大変勇気のあることだ。ましてや、市の最高権力者となるとなおさらだ。下から積み上げたハラスメント対策を進めてほしい。